

令和6年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 利用者推移表 ヘルパーステーションあい

介護度／対象年月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均介護度		2.6	2.6	2.5	2.5	2.7	2.7	2.7
総合計	計	64	61	63	67	65	63	60
	男	12	11	10	10	9	8	8
		18.8%	18.0%	15.9%	14.9%	13.8%	12.7%	13.3%
	女	52	50	53	57	56	55	52
	小計	81.3%	82.0%	84.1%	85.1%	86.2%	87.3%	86.7%
同一建物内利用者(七福)		54	51	53	57	54	52	49
建物外利用者(地域提供)		10	10	10	10	11	11	11
中止者内訳	看取り			1	1	1	1	3
	入所	3	1			4	2	
	その他				1			
要介護 1	計	15	15	15	16	15	13	13
	小計	23.4%	24.6%	23.8%	23.9%	23.1%	20.6%	21.7%
要介護 2	計	20	19	20	20	19	20	19
	小計	31.3%	31.1%	31.7%	29.9%	29.2%	31.7%	31.7%
要介護 3	計	15	16	17	18	16	16	15
	小計	23.4%	26.2%	27.0%	26.9%	24.6%	25.4%	25.0%
要介護 4	計	12	9	8	8	10	10	9
	小計	18.8%	14.8%	12.7%	11.9%	15.4%	15.9%	15.0%
要介護 5	計	1	1	2	3	3	2	2
	小計	1.6%	1.6%	3.2%	4.5%	4.6%	3.2%	3.3%

令和 6 年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 活動報告(令和 6 年 10 月時点)

定期巡回随時対応型訪問介護看護のご利用者数 ⇒ 57 名

内訳) サービス付き高齢者向け住宅・七福内 ご利用者数 ⇒ 46 名

七福外の在宅でのご利用者数 ⇒ 11 名

七福以外のご利用者様の契約件数が継続して 10 件以上の確保ができており、このサービスを利用されるケアマネジャーが増えて来ていると感じています。しかしながら、働くヘルパーの人材の確保が本当に厳しい状況です。今後も採用活動を行い、この事業を地域の方々の生活を支える担い手となるように拡大していきたいと思っています。

七福内のご利用者様に関しては、緊急コールの回数が多い現状があります。外のご利用者様と同様なサービス提供が理想だと思いますので、オペレーターの育成を課題に指導をしていきたいと思っています。また、今年度も開所当時からお住まいの方が 10 月現在で 7 名お看取りで最期を迎えられました。このサービスは在宅で最期の時まで安心してご生活いただけるサービスですので、この地域住民の方にも広く周知をしていけたらと思います。

前回いただいたご意見【令和 6 年 2 月】

- ・介護報酬改定について、現場から直接お話を聞けて参考になりました。

・色々な職種の方々と意見交換をすることで、それぞれの視点からいい案がもらえることが改めて分かりました。

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の不安や現状、令和6年度4月からの報酬改定など、様々な苦勞を

されていることを改めて感じることができました。その中でも工夫しながら訪問されているのは大変ありがたいと改めて感謝しております。

・自治会長、民生委員、訪問看護も欠席され、出席人数が少なかったです。他の出席予定の方も急遽当日キャンセルとなってしまう、せっかくの意見交換の場ですので、次回またお願いいたします。

・訪問介護の倒産件数が過去最多と昨年ニュースでも聞き、さらに今回の報酬改定ではマイナス改定とのお話がありました。厳しい状況とは思いますが、在宅生活を支えていく上で必要なサービスの一つですので、頑張ってください。

～事例紹介～

- ・ O 様 女性 94 歳 要介護 3（七福内入居）

既往歴 ⇒ 脳梗塞、高脂血症、慢性胃炎、両下肢関節炎、膝関節症、下肢静脈瘤、骨粗しょう症

左大腿骨転子下骨折(令和 3 年 12 月)

～サービス利用までの経過～

平成 28 年(2016 年)3 月から七福入居。当初はご自分で動かれており、ヘルパーは掃除や買い物等の生活援助で週一回の従来型訪問介護のサービスご利用になられておりました。

介助や声掛けがないと服薬ができないことで、令和 3 年 10 月に定期巡回随時対応型訪問介護看護のサービスに切り替えとなりました。

～利用後の経過～

退院当初はご自分でもトイレに行かれており、移動、移乗時に必要であればコールで呼んで下さるので、その都度対応しておりました。利用から 2 か月後にお部屋で転倒、骨折があり入院。リハビリを経て退院後は車椅子、歩行器併用。ご自分でも動くことができたため、服薬とコール対応が主な援助内容となっております。

最近になり、仲の良い入居者様が転居に伴い気落ちされ、食事を食べなくなったため、食事介助にて食事を摂っていただいております。

先日、お看取りでお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

～課題～

その方の状態に合わせてサービス内容を見直し、サービス提供を行うことができました。